広報とうやこ

発行日　令和6年10月10日
通　巻　第223号

■編集・発行　洞爺湖町総務部企画財政課広報統計係　〒049-5692 洞爺湖町栄町58番地　☎0142-74-3004
FAX0142-74-2121　ホームページアドレス　http://www.town.toyako.hokkaido.jp/　■印刷　トーヤ印刷

Spotlight
スポットライト

元・北海道ツーデーマーチ実行委員長

門馬　利美さん

共に語らい合った時間こそ歩き続けてきた原点

profile
昭和６年３月３日生まれ。洞爺村出身。青葉地区在住。93歳。

9月に行われた大会で最後を迎えた北海道ツーデーマーチ。洞爺湖と周辺の自然を結ぶように用意されたコースは、全国から集まった人々によって歩き継がれ、37年におよぶ歴史を積み重ねました。初回からスタッフとして協力し、実行委員長も務めた門馬利美さんは、自分の脚でつむいだ記憶を今も大切にしています。

若い頃は陸上競技で汗を流し、道代表として全国大会にも出場。鍛えた脚の向かう先は、いつも練習に使っていた洞爺湖畔の道を越え、様々な名峰やゲレンデにまでたどり着きました。特に慣れ親しんでいた羊蹄山の登頂は３００回を数え、全国放送のテレビ番組でも紹介。卒寿を迎えた今も近隣のスキー場で雪の感触を楽しみます。

思い出深いのは、埼玉県東松山市で行われ、現在も続いている日本スリーデーマーチ。最長50キロメートルのコースが用意される国内最大のウォーキングの大会で、海外の愛好者も集まります。町内の知人と出場した門馬さんは現地で多くの人と歩き、語らいました。今も連絡を取り合う仲間とは20年来の付き合い。「一緒に歩いていろんな話を聞きました」と、肩を並べて歩を進めた時間が原点です。

北海道ツーデーマーチの成功にも尽力し、裏方として、一人のウォーカーとして、歩くことを通じた人と人の出会いを支えました。門馬さんがずっと歩いてこられた理由は何でしょうか。陸上競技を続けていた頃、練習中にすれ違うランナーに呼び掛けた「元気か？」。追い越していく車のドライバーから冗談で言われた「乗っていくかい？」。「ウォーキングも声を掛け合うのが一番楽しい」という思いは今も変わらず胸にあります。最後のツーデーマーチでも参加者同士の声が絶えませんでした。幕を閉じた今も、湖畔の道からは絶えることなく足音が響いています。

東奔西走

最後の北海道ツーデーマーチは絶好のウォーキング日和。湖畔の自然も普段より美しく、最後の大会を大いに盛り上げてくれました。町の公式LINEではフルカラーの写真をご覧いただけますのでぜひご利用ください。（D.Y）

先日、取材で遊覧船に乗る機会がありました。まだ紅葉は始まっていませんでしたが、中島の緑と湖の青で癒されました。今度は、ロングラン花火大会を見ることができる夜の遊覧船に乗ってみようと思います。（Y.A）

町公式LINEを友だち追加！

イベントや防災など様々な情報に加え、フルカラー版広報紙もご覧いただけます！